

# 道徳学習指導案

指導者 広島市立〇〇小学校  
教諭 〇〇 〇〇

- 1 日 時 平成20年9月〇日 (〇)
- 2 学 年 第6学年〇組
- 3 主題名 いのち 生かして [内容項目 3-(2)]
- 4 資料名 「本田美奈子,最期のボイスレター」(NHKハイビジョン特集「本田美奈子,最期のボイスレター」～歌がつかないだ＼いのち＼の対話～)を編集し文章化した自作資料)

## 5 主題設定の理由

### (1) ねらいとする価値

昨今、見るに耐えないような生命を軽んじた報道や番組が毎日のように流れている。「いのちはかけがえのない大切なもの」という当たり前であるはずの認識が、日本人の心から失われつつあるという危機感を抱かずにはいられない。こうした時代だからこそ、学校で「生命の尊さ」について学習する意義は大きく、児童の心に響く教材や取り組みによって繰り返しアプローチする必要性を感じる。道徳の時間は、児童が、生命について考えを深めながら、自分が歩む人生について考える場であると捉える。

「いのち」には偶然性・有限性・連続性がある。つまり「かけがえのない大切な生命」なのである。わたしたちは、人と人とのかかわりの中で、支え・支えられ感謝したときや、自分が生きている・生かされていると実感したときに、生きることの尊さや、生命に対する畏敬の念を感じる。かけがえのない自他の生命を尊重し、力強く生きぬこうとする心情を育てることが、生命の教育の目的であり、そこから、児童が一日一日をどう生きようかと内面で真剣に考えていく姿へとつなげていきたい。

### (2) 児童の実態

本学級の児童は、全体的に明るく、学習や生活面において、友達とかかわり合いながら自分の力を高めたり役目を果たしたりしようと頑張っている子どもが多い。道徳の時間においては、「話す」「話し合う」ことを中心に据え、互いの考えを出し合いながら学習している。しかし、まだ自分の考えを発言しづらい児童もいるため、みんなが「よい聴き手」になりかかわりあって学習するよう意識づけている。

「いのち」の学習については、今年の1～2月(第5学年時)に、「いのち かがやいて」という単元名を掲げ、かけがえのない生命を生かしていこうとする意欲や態度を育てることをねらいとした総合単元的な学習を行ってきた。また、6～7月の平和学習とかかわって、道徳の時間に「東京大空襲」の資料をもとに学習したり、総合的な学習の時間に、被爆者のお話を聴いたり平和パネル展を見学したりする中で「いのち」について話し合い、本校の平和集会での「ちかいの言葉」を作成し、発表した。こうした一連の学習での児童の発言やワークシート・作文の内容等から、「いのちはかけがえのない大切なもの」という意識が育ってきていると見取ることができる。なお、学級の課題であった「言葉づかい」についても、「ちかいの言葉」で明文化し全員で毎日練習したり、クラスの「今日のめあて」にして取り組んだりしたことで、例えば、思うようにならなくてつい「うざい」と口走っても、自ら言い直そうとしたり周りの友達に指摘され反省したりする姿が夏休み前には見られるようになっていく。

しかし、かけがえのない「いのちを生かしていこう」という前向きな意識や実践力には個人差がありまだ十分とはいえない。加えて、夏休み明けということで、児童の意識がまた振り出しに戻っていることも予想される。そこで、今一度「いのち」について見つめ直し、「自他の生命を尊重しながら精一杯生きていこう」という気持ちを児童が抱けるようにしていきたい。

### (3) 資料について

本資料は、NHKハイビジョン特集「本田美奈子,最期のボイスレター ～歌がつかないだ＼いのち＼の対話～」を道徳の時間の資料として編集したVTRと文字起こしした資料とからなる。文書

資料については、一部本田美奈子さんのホームページの記述も加えて作成している。

アイドル歌手からミュージカルへの出演、さらにはクラシックとのクロスオーバーをするアーティストとして進化し続けてきた本田美奈子さんは、デビュー 20 周年にあたる 2005 年 11 月 6 日に、急性骨髄性白血病で亡くなった。その生前、無菌室で闘病生活をしているときに、恩師である作詞家の岩谷時子さんが大腿骨を骨折して同病院の 16 階に入院していることを知った本田美奈子さんは、「寝たきりになってはいけない。先生を励まそう」と、自らも病床にあり死と直面していながら、ボイスレコーダーに言葉とアカペラの歌を録音し、周囲の人にそれを届けてもらう日々を一ヶ月以上続けた。岩谷時子さんとの対話の中で、「生きる」ことの意味や、時には「いのち」についての不安な気持ちを素直に語った本田美奈子さんの全 32 曲の歌声はまさに魂のメッセージであると共に、自他の生命を慈しむ温かさ、最期まで精一杯自分らしく生きようとする力強さに満ちていた。深い感銘を受けた。これはまさに、自他の生命を尊重し力強く生きぬこうとする「生命の尊重」の姿であると捉え、資料化に取り組んだ。

資料の作成にあたっては、番組やインターネットで得た情報をもとに、病魔と闘いながらも、大好きな歌を通して岩谷先生に生きる希望を失わせまいと、心を込めて最期まで励まし続けた本田美奈子さんの思いについて、いろいろな視点から児童が感じることができるよう表現を工夫した。そして、対話を続けることによって、本田美奈子さんと岩谷時子さんとが生きる希望を持ち続けたり、「人は自分の幸せのためでなく、誰かの幸せのために生きている」等、生きることの意味を伝え合ったりしていることに留意しながら作成した。

#### (4) 本時の指導にあたって

本教材は心情を育てることをねらいとしており、児童が、「自他のいのちの大切さ」についてしっかりと感じとり、「自分の生き方」について振り返る時間としたい。

本時が夏休み明けの午後の時間であることも考慮して、まず導入では、児童が心を落ち着かせるための雰囲気作りをした上で、本時のねらいについて意識がもてるよう、発問を投げかけたい。

資料は、二人の対話の様子などの映像を織り込みながら、心を込めて読み聞かせたい。

展開前段では、感想の交流を行った上で児童の発言をもとにしながら、本田美奈子さんが苦しみ悩みながら岩谷時子さんのもとへボイスレターを送り続けた気持ちについて話し合い、ねらいに迫っていきたい。また、後段では「本田美奈子さんへ『いのち』のレター」を書くことで、児童自身の「いのち」「生き方」について振り返る時間をとりたい。

最後の終末では、「自他のいのちを大切に、自分のいのちを生きていく」という気持ちを児童が抱いて終われるよう、「言葉の贈り物」を読んで、余韻を残して終わりたい。このとき『心のノート』の「生命の尊さを感じて」の中にある詩も活用したい。

また、本授業で児童が書いたワークシートは、後日、懇談の際に保護者に紹介し、児童の応援団として大人ができることについて話し合い、啓発していこうと考えている。

#### 6 ねらい

自分の身体が病魔に襲われていても、恩師への励ましの気持ちを歌声に込めて送り続けた本田美奈子さんの生き様について考えることを通して、自他の生命を尊重しながら精一杯自分を生かして生きていこうとする心情を育てる。

#### 7 学習指導過程

	学習活動	主な発問(○)中心発問(●)と予想される児童の反応(・)	支援(※)と評価の観点(☆)
導入	1. 音楽を聞きながら、自分の生き方について見つめる。	○今あなたは自分らしく精一杯生きていますか。 (・自分らしくは生きているけど、適当に生活しているなあ。 ・しなくてはいけないことはしているけど、それ以外はしていないな。)  ○もし今、あなたが死にいたる病気にかかっていると知ったら、あなたはどうしますか。	※本田美奈子さんの「アメイジング・グレイス」を流し、静かな雰囲気をつくる。その中で、静かに発問を投げかける。その際、間を十分にとって児童が問題意識をもつことができるようにする。この後の展開で、児童が自分と比べて発言すると予想されるので、ここでは、あえて発言を求めない。

- ・悲しくて泣き崩れて閉じこもる。
- ・そんなこと考えたことがないけど、きっと怖くて何もできずにいるだろう。
- ・家族の気持ちを考えると、申し訳ないし、苦しくて耐えられない。
- ・もしかしたら、生きているうちに自分のしたいことをするかもしれない。

展開前段

2. VTR「本田美奈子.最期のボイスレター」を視聴して話し合う。

(1)感想を交流する。

○感想を聞かせてください。

- ・自分だったら怖くて何もできないだろうに、人のために尽くすなんて、えらいな。
- ・本田美奈子.さんは、自分も苦しいのに岩谷先生のためにボイスレターを送るなんてすごい人だな。
- ・本田美奈子.さんの歌声はきれいだし、素直で優しい性格だな。
- ・岩谷先生は、本田美奈子.さんに励まされて勇気をもらっただろうな。

(2)本田美奈子.さんの生き様・思いを話し合う。

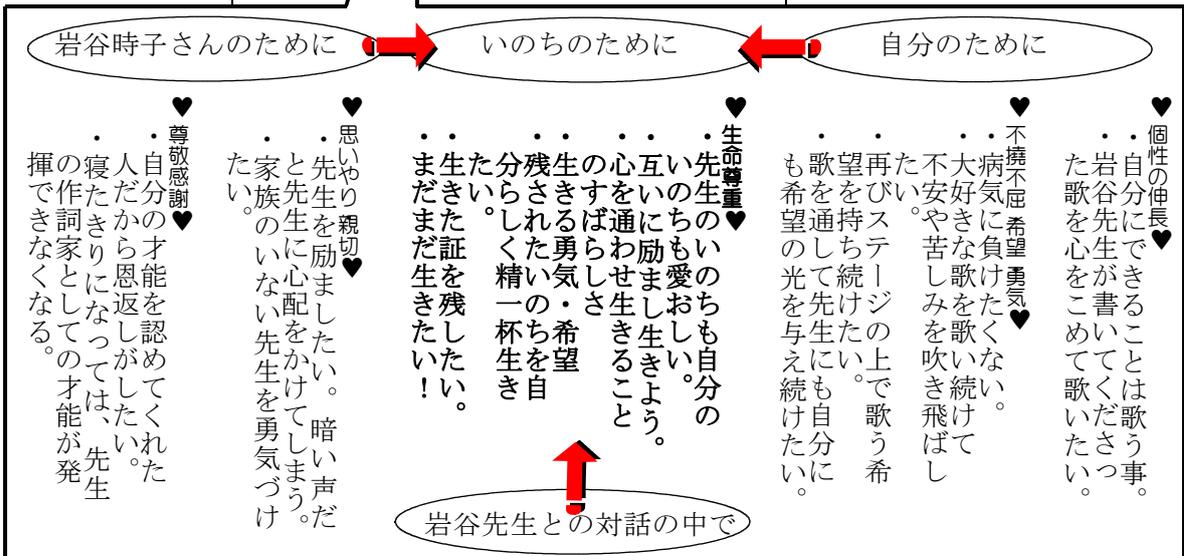
●病魔に襲われ、身体も心も苦しいのに、なぜ、毎日のように岩谷先生にボイスレターでメッセージや歌を送り続けたのでしょうか。

予想される児童の意見

※映像を織り込みながら心を込めて資料を読む。

※自由発言の仕方では意見交流を行い、児童の発言のキーワードを類型化して板書する。

※話し合いの中で、必要に応じて、病気と闘う本田美奈子.さんの姿をイメージさせたり、補助発問をしたりして、本田美奈子.さんの「いのち」「生きる」ことへの思いについてより深く考えることができるようにする。



☆本田美奈子.さんの生き様について考えることを通して、自他の生命を尊重しながら、精一杯自分のいのちを生きていこうとする本田美奈子.さんの心情を捉えることができるか。(発言

		内容・児童の様子)	
展開 後段	<p>3. 本田美奈子.さんへ「いのち」のレターを書く中で自分を振り返る。</p>	<p>○あなたは(本田美奈子.さんのように)お互いの命を大切にし、自分のいのちを精一杯生きていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○○のときは、そうだった。自分が生き生きしているを感じた。</li> <li>・家族のために手伝いを毎日している。</li> <li>・習い事で自分の技量を高めようと頑張っている。</li> <li>・でも,ただなんとなくやっている感じで,本田美奈子.さんのように精一杯心をこめてしていない。</li> <li>・自分のいのちだけでなく他人のいのちのことも考えながら生きていきたい。</li> <li>・また改めて自分のいのちを輝かせたいと思った。自分にできることを考えていこう。</li> </ul>	<p>※質問を投げかけ間を取ってからワークシートに手紙を書くよう指示する。その際,感想だけを書くのではなく,自分自身の「いのち」「生き方」について振り返りながら書くことをおさえる。</p> <p>※時間の許す限りボイスレターの形で発表できるようにしたい。</p> <p>☆自他の生命を尊重しながら精一杯自分を生かして生きていこうとする意欲がもてたか。(ワークシートの記述・発言)</p>
終末	<p>4. 「いのちを生かす」に関する「言葉の贈り物を」聴く(受け取る)。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生きている自分をもっと感じて自分らしく生きていきたい。</li> <li>・今の自分に何ができるかな。</li> </ul>	<p>※本田美奈子.さんの「アメイジング・グレイス」の歌を流しながら,印象づけるために言葉を大きな本にして読んで伝える。その本の1ページに,『心のノート』「生命の尊さを感じて」の中の詩も引用する。</p>

道徳ワークシート      月   日   名前

本田美奈子. 最期のボイスレター

美奈子さんへ「いのち」のレター

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

①自分の思いや考えを発言することができましたか？

できた                      できなかった

②友達の思いや考えを聴くことができましたか？

できた                      できなかった

③自分のことをふりかえることができましたか？

できた                      できなかった